

感染症 ひとくち情報

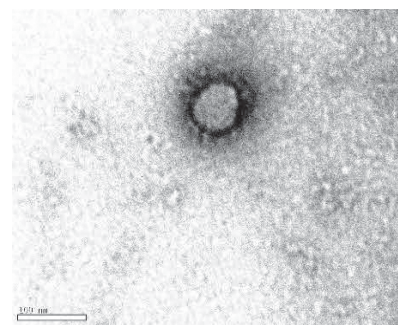
新型コロナウイルス感染症について



2020年3月6日
東京都健康安全研究センター

1. 新型コロナウイルス感染症について

ヒトに感染するコロナウイルスはこれまでに7種類確認されていて、その中の1つが「新型コロナウイルス（SARS-CoV2）」です。7種類中、4種類のウイルスは日常的にヒトに感染し、風邪の10%から15%はこれらのウイルスが原因とされています。また、感染しても多くは軽症です。一方、2002年に中国から発生したSARS（重症急性呼吸器症候群）の原因ウイルスと2012年にアラビア半島を中心に発生したMERS（中東呼吸器症候群）の原因ウイルスは、ヒトに感染すると深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあります。



新型コロナウイルス顕微鏡写真

新型コロナウイルスに関してはまだ解明されていないことが多いですが、ヒトに感染すると発熱、咳、頭痛、倦怠感等のインフルエンザに似た症状や呼吸困難を伴う肺炎を認める場合があると報告されています。現時点で、新型コロナウイルス感染症に有効な治療法は無く、対症療法が中心となります。

2. 対策のポイントについて ～手洗い、咳エチケット～

感染経路は、感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる**飛沫感染**と、ウイルスが付着した手で目・口・鼻を触ること等による**接触感染**があります。新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」と「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

○流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目等に触る前には手洗いを徹底しましょう。

○咳・くしゃみが出る場合は、次のような「咳エチケット」を心がけましょう。

- マスクを着用します
- ティッシュなどで鼻と口を覆います
- とっさの時は、袖、肘の内側などを使って口や鼻を覆いましょう
- 周囲の人からなるべく離れます



3. 新型コロナウイルス感染症に感染した疑いがある場合

次のいずれかに該当する場合は新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）（右のQRコード）へご相談ください。



- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

※ 高齢者や基礎疾患のある方は上の状態が2日程度続く場合